

# 青年期の感覚刺激への不快感と、その不快感を形成する要因について

萩原英敏

(2005年9月27日受理)

## 要 約

青年期の不快刺激がどの様で、その程度はいかばかりか、また不快を形成する要因にどんなものがあるかを見ようと、首都圏の R 大、S 大の女子305名、男子63名を対象に、「不快刺激の程度」「両親の神経質の程度」「幼児期からの遊び方」「対人関係の不安」などを問う、75項目からなるアンケート調査を実施し、以下の事が明らかになった。

1. 味覚を除く、各感覚とも、女性の方が男性より、不快感を強く感じるが、不快内容には、性差がなかった。
2. 全感覚の不快程度で、女性の平均点は100点満点で、53点、SDが12点で、左右対象の正規分布曲線を示した。このことから、今回の質問項目を使う事で、不快の程度を知る可能性が考えられた。
3. 味覚以外は、各感覚間に、相互の関係が見出せた。
4. 不快感を形成する要因として、女性では、聴覚、視覚刺激に、大人のしつけ方及び接し方、一方男性では触覚刺激に、仲間との遊びが見出されたが、他は見出せなかった。
5. 不快感の強さと、対人関係の不安の強さの関係では、女性で聴覚への不快と、対人関係の不安、男性で全感覚への不快と、対人関係の不安、のそれぞれの関係が見出された。

**キーワード** 青年期、五感、不快刺激、遊び、躰

## I. はじめに

1

人は生活する上で、色々な外界の刺激を受けている。その刺激を五感といわれる感覚受容器を通して感受する。そしてその刺激によって好きだという感情が生じれば快刺激と、また逆に嫌いだという感情が生じれば不快刺激として、その刺激を認知する。この認知のしかたであるが、筆者と異性でしかもかなり年齢差のある女子学生とは、その認知のしかたに相当な違いのある事を何度か経験させられた。特に記憶に残るも

のは、虫に対してのものである。ある時講義中に、急に騒がしくなり、身を揺すったり、立ったりする者もでてきたので、何かと思い近くに寄ると、蝶のような小虫が、イスに止まっていた。自分達で追っ払うなり、捕りさえすればいいのに、筆者にどうにかしてと要求するので、可愛想だがティッシュで捕えて、ゴミ箱に捨てたので、その場は元通りの状態に戻った。この小虫を不快刺激としてとらえる認知のしかたは、以前にも似た様な経験をしたが、これ程までか、と強く印象に残ったものであった。

今日の女子学生が育った環境は、筆者のそれとは、かなり違っている。その環境の変化は、筆者には、それ程不快を感じない中性刺激だったり、逆に快刺激だったものが不快刺激と認知されたりする。またこれとは反対に、筆者が不快刺激と感じたものに、学生はそれ程感じないという事も認められるかも知れない。

そこで今日の青年期の学生が、外界の刺激をどの様に認知しているのか、本研究は不快刺激と考えられるものに限定して、不快の程度を調べる事にした。不快刺激としては、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚（身体感覚）の五感すべての刺激を用いた。

外界の刺激をどの様に感じるかという研究は、アリストテレスが五感を取り上げて以来、行なわれて来ている。本研究に当たり、どの様な刺激を不快刺激と用いればよいか、その選択に当たり、2つの方法を用いた。まずその1つは先行研究に当たり、その研究結果を参考にする事である。参考にした先行研究の1つは、浜治世 (1997)<sup>1)</sup> である。これは、大学生（男子142名、女子228名）を対象にして行なわれたもので、触覚刺激と聴覚刺激への不快の程度を調べたものである。まず触覚刺激で、「手に触れることの出来ないもの」といった不快程度の強い刺激は、強い程度から男子では、汚い物、虫、ヘビ、古い専門書、泥、ゴキブリ、試験の答案用紙、魚といった順であり、女子では、爬虫類、ゴキブリ、虫、ごみ、試験の答案用紙、魚、テキスト、汚い物、ぬるぬるした物の順であった。この結果で男女共に、上位にランクされてるものの1つに虫があげられているのは、私の体験した女子学生の反応は、他の学生にも認められるという事が確認された。次に聴覚刺激で、「嫌いな音」といった不快程度の強い刺激は、強い程度から男子では、黒板・ガラスをひっかく音、クラクションの音、自動車・バイクの音、寺の鐘、サイレンの音、雷の音、急ブレーキの音、風の音、雨の音といった順であり、女子では、金属音、工事現場の音、救急車の音、疲れた声、ガラスの割れる音、ドアのきしみ音、車のブレーキ音、赤ちゃん・子どもの泣き声、電車の地下鉄の順であった。

2

次に2つ目は、辻敬一郎等 (1996)<sup>2)</sup>の研究である。これは大学生（男子20名、女子20名）を対象にして行なわれたもので、不快感情が喚起されると考えられる感覚事象を表出している刺激文を、学生に聞かせ、それへの初発反応時間に性差があるかを見たものである。その結果は、初発反応時間の平均値は、男性が女性より有意に長いというもので、男性が女性より不快刺激への耐性を持っているという結果であった。本研究も性差で見たので、同じ結果が出るか興味を持ちつつ、ここで刺激文に使われている不快刺激を参考にする事にした。この研究で用いられている刺激文は、各感覚

別に見ていくと、次の通りである。まず視覚から見ていくと、交通事故の現場を目撃する、暗い夜道を独りで歩く、ビルの屋上から地面を見下ろす、エレベーターに独りで閉じこめられる。ヘビがはっているのを見る、などである。次に聴覚を見ていくと、黒板にチョークで引きさく音を聞く、食器の割れる音を聞く、マイクがキーとなる音を聞く、消防車のサイレンの音を聞く、人の悲鳴を聞く、ガムをクチャクチャ噛む音を聞く、などである。また触覚では、ヌルヌルとした魚を素手でつかむ、電車の中で他人と身体が触れあう、クツの中に砂がはいっている、雨で髪の毛がぬれる、などである。さらに嗅覚では、人混みで汗の臭いを嗅ぐ、生ゴミの臭いを嗅ぐ、生魚の臭いを嗅ぐ、タバコの臭いを嗅ぐ、強い香水の匂いを嗅ぐ、などである。なお、この研究では味覚に関しての刺激文は提示されていない。

以上が参考にした先行研究であるが、これ以外に、36名の女子学生を対象に「感覚刺激に関する調査」という題のプリテストを行なった。(資料1)そしてこの結果から上位にあがった不快刺激と、先行研究で出されている不快刺激で、共にあげられている不快刺激、プリテストの対象者が女性だったので、先行研究で男性を対象者として出された不快刺激、日常生活でよく体験しそうな不快刺激といった、3つの観点から、各感覚別に10項目の不快刺激、全感覚50項目の不快刺激からなる質問項目を作り上げた。(資料2)

以上の様にして、本研究の主題である、不快刺激の程度を見る為の、項目設定はおえたが、本研究の次の項目である、「その不快度を形成する要因について」は、この要因があまりに多く、先行研究からもこれといった結果はあまり出されていず、要因を絞る事の危険性は感じていたが、筆者の体験から、(1)両親の神経質の程度、(2)両親および周囲の大人のしつけ及び接し方、(3)幼児期からの遊び方の3つの視点から見る事にした。

最後に、筆者の今まで行って来た一連の研究—青年女子の対人関係に関するもの—萩原英敏(1999<sup>3)</sup>、2000<sup>4)</sup>、2001<sup>5)</sup>、2004<sup>6)</sup>、2005<sup>7)</sup>)は、対人不安といった、対人間への不快の程度を調べたものである。本研究は、これに対して、対物が中心になって不快の程度を調べ様としたものである。そこで、この対人への不快の程度の強い人が、対物でも強いのかどうか見る為に、過去に用いた、対人不安の質問項目を用いて、相互の関連を見ようとした。

## II. 方法

### 1. 対象者

首都圏のR大 男子学生	63名
首都圏のR大、S大 女子学生	305名

## 2. 調査

アンケート調査で3段階評定法—(資料2)

本アンケートは、「不快刺激(反応)と、その要因に関するアンケート」という題のもので、前述した研究の目的の為、5つの分野によって質問項目が構成されている。

その1は、研究の主題である、不快刺激の程度を見るもので、Q1～Q50まで、全感覚別に10項目ずつ、計50項目である。

その2は、要因の中の(1)両親の神経質の程度で、Q69、Q70の2項目である。

その3は、要因の中の(2)両親および周囲の大人のしつけ及び接し方で、Q71～Q74の4項目である。

その4は、要因の中の(3)幼児期からの遊び方で、これは表1に示すプリテストで行なった結果や、男性も含めて多くの子どもが遊ぶ内容のものから、屋外遊び、室内遊び、集団遊び、一人遊びなど、遊び場所や対人関係などを考慮した、Q51～Q60の10項目の質問を作製した。

その5は、対人への不安、すなわち対人への不快の程度の強い人が、対物でも強いのかを見る為、過去に用いた質問項目の中から、特に対人関係を見るものを選択して、質問項目に当てた。これがQ61～Q68の8項目である。

## 3. 調査時期

2004年4月～11月

## 4. 分析方法

SPSSによる単純集計及び平均値の分析、相関分析

## Ⅲ. 結果及び考察

### 1. 単純集計及び平均値の分析

#### (1) 不快刺激の程度

本アンケートは、3段階評定法を用いたので、非常に不快である…2点、やや不快である…1点、あまり気にならない…0点と点数化し、その結果を出した。

まず〈味覚〉の不快度の順位をみていくと、表2の様な結果になった。それによると、男女共、順位の高いワーストスリーに、脂身たっぷりの肉、レバー、グリーンピースがはいっている。舌ざわりや独特の風味などに不快感を持っている青年が多い事が明らかになった。一方それ程不快でないものは、女性では貝類、つぶあん、しいたけ、男性ではわさび、つぶあん、いくらが挙がっていて、つぶあんだけは男女共見られたが、女性で一番最下位のしいたけは、男性では第4位と、より不快なものに挙げられていた。次にこの不快度の程度と、その性差を見たのが表3で、女性の分布を示したのが図1である。それによると、女性の平均値が5.9、男性が4.2で、女性の方が1.7不

快度が強いという結果が出た。これを平均値の差 (t-検定) で調べてみると、分布の仕方に差があり、検定が出来ず、有意差は見出せなかった。

第2に〈嗅覚〉の不快感の順位を見ていくと、表4の様な結果になった。それによると、男女共、順位の高いワーストフォーに、生ゴミ、おやじ臭さ、生臭さ、トイレの臭いがはいっている。生ゴミやトイレの臭いなどは、毎日の生活で接する機会が多いものである。それ故、生ゴミはゴミ袋に入れたり、水洗トイレになったりなど、今日の日本社会は清潔感を保てる生活へと改善されて来たのであるが、これがためにちょっとした臭気に敏感に反応する様になっていると考えられる。一方それ程不快でないものは、男女共、車内の臭い、動物の臭い、チーズの臭いであった。ペットブームで幼い時から動物に接している事や、チーズを用いた食物を多く口にしている事など、これらへの不快感は弱いものであった。次にこの不快度の程度と、その性差を見たのが表5で、女性の分布図を示したのが図2である。それによると女性の平均値が12.9、男性が11.2で、女性の方が1.7不快感が強いという結果が出た。これをt-検定で調べてみると、1%有意の差が見出せた。すなわち、女性は男性より嗅覚の不快感の程度が強いという事である。

第3に〈触覚〉の不快感の程度の順位を見ていくと、表6の様な結果になった。それによると、男女共、順位の高いワーストスリーに、手袋をしてゴキブリをつかまえる、いもむしを手でつかまえる、手袋をしてナメクジをつかまえるがはいっている。この結果は、素手であろうと、手袋をした状態であろうと、この種の虫に触れる事に対して、強い不快感を持っている事が明らかになった。これは、浜治世 (1997) の研究結果と同じものであり、筆者の講義中の経験も、それを裏付けるものになった。なぜ、この様に虫に触れる事に、強い不快感を感じるかについては、今日の日本社会において、この様な虫に触れる機会が少なくなったという自然環境の変化や、ゴキブリに代表される様に、汚い、不潔なものには絶対手につれないといった、過度とでもいい程の清潔志向が、この様な結果をもたらしたものと考えられる。一方それ程不快でないものは、男女共、生魚に手で触れる、本のページをめくるであった。次にこの不快度の程度と、その性差を見たのが表7で、女性の分布を示したのが図3である。それによると女性の平均値が11.5、男性が8.4で、女性の方が3.1不快感が強いという結果が出た。この男女差は、他の感覚に比べて一番大きい差である。そしてこれもt-検定で調べてみると、1%有意の差が見出せた。すなわち、女性は男性より触覚の不快感が強いという事である。

第4に〈聴覚〉の不快感の順位を見ていくと、表8の様な結果になった。それによると、男女共、順位の高いワーストフォーに、黒板にチョークでひっかく音、ハエのブーンという音、ぶりっ子の声、どなり声がはいっている。この結果は、青年期に頻繁に接する音の中に、強く不快感をもつものがあるという事が明らかになった。一方それ程不快でないものは、救急車のサイレンの音、静かな時の時計の音、パトカーのサイレンの音であった。これらは危急を知らせる音などであるが、普段よく耳にする

音なので、それ程不快感は感じなくなったのであろう。次にこの不快度の程度と、その性差を見たのが表9で、女性の分布を示したのが図4である。それによると女性の平均値が10.9、男性が8.9で、女性の方が2.0不快感が強いという結果が出た。これをt-検定で調べてみると、1%有意の差が見出せた。すなわち、女性は男性より聴覚の不快感が強いという事である。

第5に〈視覚〉の不快感の順位を見ていくと、表10の様な結果になった。それによると、男女共、順位の高いワーストスリーに、動物の死体を見る、ゴキブリを見る、不潔な人を見るがはいっている。生き物で不潔感をただよわせる物を見ると、強く不快感を持つ傾向にある事がわかった。一方それ程不快でないものは、汗をかいている人を見る、生魚をみるであった。発汗は自分達もよく経験し、生魚を見る機会も少なくない為、それ程不快感は感じなくなったのであろう。次にこの不快度の程度と、その性差を見たのが表11で、女性の分布をみたものが図5である。それによると女性の平均値が11.4、男性が9.3で、女性の方が2.1不快感が強いという結果が出た。これをt-検定で調べてみると、1%有意の差が見出せた。すなわち、女性は男性より視覚の不快感が強いという事である。

最後に〈全感覚の不快刺激〉の不快感の程度と性差を見たのが表12で、女性の分布をみたものが図6である。女性の方は、平均値が53.0で、SDが12.0で、少し右寄りの左右対称の正規分布を示している。この結果より、この質問項目を使う事によって、かなり、全感覚の不快感の程度を知る事が出来るのではないかと考えられる。一方男性の方は、平均値が42.0で、SDが12.50で、平均値が女性より11.0少なく、1%有意に不快の程度が弱いという事はわかった。すなわち、男性は女性よりそれ程強く不快感を感じないという事である。これは辻敬一郎著(1996)の研究結果と同じで、男性が女性より不快刺激への耐性を持っている為だろうと考えられる。ただ男性の方は対象者が少ない為に、左右対象の正規分布は示していない。しかし対象者を多くすれば、女性と同じ様な分布図を示すとも考えられる。また男女とも、全感覚において、不快度の強いもの、それ程でもないものの順位は、同じ傾向を示しており、男女共、同じ質問項目を使って、不快の程度を知る事が出来るのではないかと考えられる。

## (2) 不快感を形成する要因

まず〈両親の神経質の程度〉を見ていく。これは、Q69、Q70の2項目で、資料2の様に点数化したものを、合計したものである。その結果表13、図7の様になり、女性の方が男性より平値点が少し低い。

第2に〈両親および周囲の大人のしつけ及び接し方〉を見ていく。これはQ71~Q74の4項目で、資料2の様に点数化したものを、合計したものである。その結果表14、図8の様になり、女性の方が男性より平均点が少し低い。

第3に〈幼児期からの遊び方〉A、仲間との遊びを見ていく。これはQ51~Q55の5項目で、資料2の様に点数化したものを、合計したものである。その結果表15、図

9の様になり、平均点は男女共、同じである。

第4に〈幼児期からの遊び方〉B、一人遊びを見ていく。これはQ56～Q60の5項目で、資料2の様に点数化したものを、合計したものである。その結果表16、図10の様になり、女性の方が男性より平均点が少し高い。

### (3) 対人関係の不安

どの程度、対人への不安があるのかを見た。これは、Q61～Q68の8項目で、資料2の様に点数化したものを、合計したものである。その結果表17、図11の様になり、女性の方が男性より平均点が低い。

## 2. 相関分析

### (1) 感覚別、不快刺激間の関係

味覚、嗅覚、触覚、聴覚、視覚といった五感の刺激への不快程度が、お互いどのような関係にあるのか、相関分析を行った。R値はpearson相関値である。その結果、女性では、表18の通りで、味覚—聴覚が無相関、味覚—視覚が5%有意の相関を示し、それ以外は全部1%有意の相関を示した。すなわち、ある感覚の刺激で、不快度を強く感じている者は、他の感覚の刺激でも、不快度を強く感じている。逆に、ある感覚の刺激で、それ程不快度を感じていない者は、他の感覚の刺激でも、不快度をそれ程感じていない、という事が出来るのである。一方、男性では、表19の通りで、味覚—嗅覚、味覚—触覚、味覚—聴覚、味覚—視覚のそれぞれにおいて、無相関、嗅覚—視覚で5%有意の相関を示したが、それ以外は女性と同じで、全部1%有意の相関を示した。すなわち、男性は味覚を除いて、ある感覚の刺激で、不快度を強く感じている者は、他の感覚の刺激でも、不快度を強く感じている。逆に、ある感覚の刺激で、それ程不快感を感じていない者は、他の感覚の刺激でも、不快度をそれ程感じていない、という事が出来るのである。

### (2) 不快度と、それを形成する要因、および対人への不安との関係

不快度を形成する要因として、両親の神経質の程度、両親および周囲の大人のしつけ及び接し方、幼児期からの遊び方—仲間との遊び、一人遊び—、を3つの視点から関係をみる為、不快度との相関を調べた。また、対物が中心となっている不快刺激と、対人への不快度を示す対人不安がどのような関係にあるのか相関を調べた。その結果、女性が表20、男性が表21に示された通りである。女性では、聴覚、視覚と、大人のしつけ方及び接し方の間に5%有意の相関が、聴覚と対人関係の不安の間に、5%有意の相関が認められた。すなわち、大人から厳しくしつけられた者は、聴覚、視覚の刺激への、不快度を強く感じているという事である。厳しくしつけられる時の言葉や態度などが関係していると考えられる。また、対人関係で不安を強く持っている者は、聴覚刺激への不快度を強く感じているという事である。これは悪口などに過敏になっ

ている事などが考えられる。一方男性では、触覚と仲間との遊びの間に5%有意の相関が、全感覚と対人関係の不安の間に、5%有意の相関が認められた。すなわち、幼児期から仲間とよく遊んだ者は、触覚刺激への不快感は、それ程強くなく、あまり遊んでいない者は、触覚刺激への不快感を強く感じていた。幼児期からの自然との触れあい、仲間との身体との触れあいが、触覚刺激への不快感を低減させているという事が言えそうである。逆にこの様な触れあいが少ない者は、不快感を増大させているという事も言えそうだ。今日の近代化の進む日本（特に対象者が住む大都市圏）では、この様な触れあいは減少傾向にある。この事が本来この様な触れあいを好むと考えられる男性に減少し、その結果、触覚刺激への不快感を強めたとすれば、この触れあいの減少を押し止め、増大する様な環境を作ってやらなければならない。また、対人関係の不安を持っている者は、どの感覚というのではなく、それを総合した全感覚というレベルで、不快感を強く感じていた。これは対人への不安と対物への不快は互いに関係しているという事である。以上男女には違いがあるが、幾つかの関係が見出せた。しかし、予想以上に関係するものが少なかった。これは先行研究でほとんど明らかにされていない事から考えられる様に、この感覚の不快感というのは、生来的な何か独立したものなのか、または、ここで取り上げた要因以外のもっと違ったものが多くからまって形成したものなのか、そんな事が考えられるものであった。今後機会があったら、これらの点をさらに追求出来ればと思っている。

#### IV. まとめ

青年期の者の不快刺激がどの様なもので、また不快程度はいかばかりか、さらにその不快を形成する要因はどんなものがあるのかなどを見た。その為首都圏のR大、S大の女子305名、男子63名を対象に、「不快刺激の程度」「両親の神経質の程度」「幼児期からの遊び方」「対人関係の不安」などを問う、75項目からなるアンケート調査を実施し、以下の事が明らかになった。

1. 味覚刺激の不快感の強いものは、男女共、「脂身たっぷりの肉」「レバー」「グリーンピース」であり、不快感の平均値は女性5.9、男性4.2で、性差は認められなかった。
2. 嗅覚刺激の不快感の強いものは、男女共、「生ゴミ」「おやじ臭さ」「生臭さ」「トイレ臭さ」であり、不快感の平均値は女性12.9、男性11.2で、1%有意の性差が認められた。
3. 触覚刺激の不快感の強いものは、男女共、「手袋をしてゴキブリをつかまえる」「いもむしを手でつかまえる」「手袋してナメクジをつかまえる」であり、不快感の平均値は女性11.5、男性8.4で、1%有意の性差が認められた。
4. 聴覚刺激の不快感の強いものは、男女共、「黒板にチョークでひっかく音」「ハエのブーンという音」「ぶりっ子の声」「どなり声」であり、不快感の平均値は



女性10.9、男性8.9で、1%有意の性差が認められた。

5. 視覚刺激の不快感の強いものは、男女共、「動物の死体を見る」「ゴキブリを見る」「不潔な人を見る」であり、不快感の平均値は女性11.4、男性9.3で、1%有意の性差が認められた。
6. 全感覚の不快感程度では、女性が100点満点で平均値53点、SD12点で、左右対象の正規分布を示し、この質問項目を使う事により、全感覚の不快感の程度を知る事が出来るのではないかと考えられた。一方、男性は、平均点が42点、SD12.5点で、平均値では11.0点低く、女性との1%有意の性差が認められた。これは男性が女性より不快刺激への耐性を持っているからだと考えられた。また、男性は対象者が少なく女性の様な分布図は示していないが、不快感の強いものなど同じ傾向を示しており、女性と同様、この質問項目を使って、不快の程度を知る事が出来るのではないかと考えられた。
7. 感覚別、不快刺激間の関係をみたところ、味覚以外は、各感覚間共、相関値が高く、関係している事がわかった。
8. 不快感を形成する要因として、どんなものがあるかみたところ、女性では、聴覚、視覚の刺激への不快感と、大人のしつけ方及び接し方に、5%有意の相関が認められた。一方男性では触覚の刺激への不快感と、仲間との遊びに、5%有意の相関が認められた。
9. 不快感の強さと、対人関係の強さの関係では、女性では聴覚刺激への不快感の強さと、対人関係の不安の強さに、5%有意の相関が認められた。一方男性では、全感覚刺激への不快感の強さと、対人関係の不安の強さに、5%有意の相関が認められた。

## 文献

- 1) 浜治世「触感の研究：bright pressureとdull pressureおよび乳癌患者のロールシャッハ濃淡反応」『文京女子大学紀要（人間学部）』第1号, 1997, p.109-138.
- 2) 辻敬一郎〔ほか〕「刺激文によって喚起される不快感情の分析：感覚モダリティと性の要因の効果」『感情心理学研究』第3号, 1996, p.64-70.
- 3) 萩原英敏「女子学生の心理的危機と、それをもたらした養育環境について：その1、女子学生の心理的危機と、養育環境の実態」『淑徳短期大学研究紀要』第38号, 1999, p.121-144.
- 4) 萩原英敏「女子学生の心理的危機と、それをもたらした養育環境について：その2、女子学生の心理的危機と、養育環境の関係」『淑徳短期大学研究紀要』第39号, 2000, p.53-81.
- 5) 萩原英敏「女子学生の心理的危機と、それをもたらした養育環境について：その3、女子学生の心理的危機と、小学生時代の自己充実感・自己達成感との関係について」『淑徳短期大学研究紀要』第40号, 2001, p.41-72.
- 6) 萩原英敏「両親の不和が子の心理的発達過程に及ぼす影響—青年女子の場合：その1.

不和への介入度と心理的危機との関係を中心に」『淑徳短期大学研究紀要』第43号, 2004, p.55-83.

- 7) 萩原英敏「両親の不和が子の心理的発達過程に及ぼす影響—青年女子の場合：その2. 不和状態が作り出す、親子関係」『淑徳短期大学研究紀要』第44号, 2005, p.29-48.

## 資料 1

### 感覚刺激に関する調査

あなたが味あうもので、嫌なものはどんなものですか？

やや嫌い ( ) ( ) ( ) ( )

非常に嫌い ( ) ( ) ( ) ( )

あなたが臭うもので、嫌なものはどんなものですか？

やや嫌い ( ) ( ) ( ) ( )

非常に嫌い ( ) ( ) ( ) ( )

あなたが触れるもので、嫌なものはどんなものですか？

やや嫌い ( ) ( ) ( ) ( )

非常に嫌い ( ) ( ) ( ) ( )

あなたが耳にするもので、嫌なものはどんなものですか？

やや嫌い ( ) ( ) ( ) ( )

非常に嫌い ( ) ( ) ( ) ( )

あなたが目にするもので、嫌なものはどんなものですか？

やや嫌い ( ) ( ) ( ) ( )

非常に嫌い ( ) ( ) ( ) ( )

### <遊びについて>

幼い時、仲間と一緒によくやった遊び

室 外 ( ) ( ) ( ) ( )

室 内 ( ) ( ) ( ) ( )

幼い時、一人でよくやった遊び

室 外 ( ) ( ) ( ) ( )

室 内 ( ) ( ) ( ) ( )

## 資料 2

### 嫌悪刺激（反応）と、その要因に関するアンケート

- 10 最近、嫌いなものに対して、敏感に反応する人が多数見かけられます。そこでどんなものに、どの程度嫌いなのかを調べることにしました。またその要因と考えられる子どもの時期の遊び体験や、現在の性格などを調べる調査項目を作ってみました。
- 回答に際しては、無記名でありプライバシーは守られること、資料は厳守に保管し秘密保持に努めることを、当方が約束した上で、調査に協力願えればと思います。

<嫌悪刺激>

	あまり気に ならない	やや嫌い である	非常に嫌い である
Q1 あなたが、レバーを口にしたら、 どんな感じですか？			
Q2 あなたが、しいたけを口にしたら、 どんな感じですか？			
Q3 あなたが、グリーンピースを口に したら、どんな感じですか？			
Q4 あなたが、わさびを口にしたら、 どんな感じですか？			
Q5 あなたが、からしを口にしたら、 どんな感じですか？			
Q6 あなたが、いくらを口にしたら、 どんな感じですか？			
Q7 あなたが、にんじんを口にしたら、 どんな感じですか？			
Q8 あなたが、貝類を口にしたら、ど んな感じですか？			
Q9 あなたが、つぶあんを口にしたら、 どんな感じですか？			
Q10 あなたが、脂身たっぷりの肉を口 にしたら、どんな感じですか？			
Q11 あなたが、トイレの臭いをかいだ ら、どんな感じですか？			
Q12 あなたが、強い香水の臭いをかい だら、どんな感じですか？			
Q13 あなたが、おやじ臭さのにおいを かいだら、どんな感じですか？			
Q14 あなたが、タバコの臭いをかいだ ら、どんな感じですか？			
Q15 あなたが、生ごみの臭いをかいだ ら、どんな感じですか？			
Q16 あなたが、生臭さのにおいをか いだら、どんな感じですか？			
Q17 あなたが、酒臭いにおいをかいだ ら、どんな感じですか？			
Q18 あなたが、チーズの臭いをかいだ ら、どんな感じですか？			
Q19 あなたが、動物の臭いをかいだら、 どんな感じですか？			

- |     |                                   |  |  |
|-----|-----------------------------------|--|--|
| Q20 | あなたが、電車やバスで、車内の臭いをかいたら、どんな感じですか？  |  |  |
| Q21 | あなたが、バッタを手でつかまえるなら、どんな感じですか？      |  |  |
| Q22 | あなたが、生魚に手で触れるなら、どんな感じですか？         |  |  |
| Q23 | あなたが、いもむしを手でつかまえたなら、どんな感じですか？     |  |  |
| Q24 | あなたが、手袋してカエルをつかまえたなら、どんな感じですか？    |  |  |
| Q25 | あなたが、手袋してゴキブリをつかまえたなら、どんな感じですか？   |  |  |
| Q26 | あなたが、手袋してナメクジをつかまえたなら、どんな感じですか？   |  |  |
| Q27 | あなたが、手袋して生ゴミに触れたら、どんな感じですか？       |  |  |
| Q28 | あなたが、手袋して便器に手を触れたら、どんな感じですか？      |  |  |
| Q29 | あなたが、静電気を起こすものに触れたら、どんな感じですか？     |  |  |
| Q30 | あなたが、本のページをめくる時、どんな感じですか？         |  |  |
| Q31 | あなたは、黒板にチョークでひっかく音をきいたら、どんな感じですか？ |  |  |
| Q32 | あなたは、どなり声を聞いたら、どんな感じですか？          |  |  |
| Q33 | あなたは、救急車のサイレンの音を聞いたら、どんな感じですか？    |  |  |
| Q34 | あなたは、パトカーのサイレンの音を聞いたら、どんな感じですか？   |  |  |
| Q35 | あなたは、ハエのブーンという音を聞いたら、どんな感じですか？    |  |  |
| Q36 | あなたは、静かな時、時計の音を聞いたら、どんな感じですか？     |  |  |
| Q37 | あなたは、工事の音を聞いたら、どんな感じですか？          |  |  |
| Q38 | あなたは、バイクの音を聞いたら、どんな感じですか？         |  |  |

Q39	あなたは、テレビのジーという音を聞いたら、どんな感じですか？		
Q40	あなたは、ぶりっ子の声を聞いたら、どんな感じですか？		
Q41	あなたは、ゴキブリをみたら、どんな感じですか？		
Q42	あなたは、ハエをみたら、どんな感じですか？		
Q43	あなたは、動物の死体をみたら、どんな感じですか？		
Q44	あなたは、酔っ払いの姿をみたら、どんな感じですか？		
Q45	あなたは、いちゃいちゃしているカップルをみたら、どんな感じですか？		
Q46	あなたは、ミミズを見たら、どんな感じですか？		
Q47	あなたは、生魚をみたら、どんな感じですか？		
Q48	あなたは、不潔な人をみたら、どんな感じですか？		
Q49	あなたは、汗をかいている人を見たら、どんな感じですか？		
Q50	あなたは、地面に座っている若者をみたら、どんな感じですか？		

<子ども時代の遊び>

	よく遊んだ	時々遊んだ	ほとんど遊ばなかった
Q51	あなたは、小学生まで外で仲間と、鬼ごっこして、遊びましたか？		
Q52	あなたは、小学生まで外で仲間と、どろんこや砂遊びをして、遊びましたか？		
Q53	あなたは、小学生まで外で仲間と、警泥をして、遊びましたか？		
Q54	あなたは、小学生まで外で仲間と、縄跳びやゴム跳びをして、遊びましたか？		
Q55	あなたは、小学生まで外で仲間と、野球やサッカーをして、遊びましたか？		
Q56	あなたは、小学生まで外で一人で、一輪車や自転車に乗って、遊びましたか？		

- |     |                                    |                      |                      |
|-----|------------------------------------|----------------------|----------------------|
| Q57 | あなたは、小学生まで外で鉄棒して、遊びましたか？           | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q58 | あなたは、小学生まで室内で一人で、テレビゲームをして、遊びましたか？ | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q59 | あなたは、小学生まで室内で一人で、ブロック作りをして、遊びましたか？ | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q60 | あなたは、小学生まで室内で一人で、ぬりえをして、遊びましたか？    | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

<現在の対人関係>

- |     | その傾向が強い                                | どちらとも<br>いえない        | その傾向は<br>ほとんどない      |
|-----|--|----------------------|----------------------|
| Q61 | あなたは、他人と自然につきあえますか？                    | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q62 | あなたは、知っている人を見かけると、顔をあわせないようにしますか？      | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q63 | あなたは、2人きりでいる時、相手を意識して、緊張しますか？          | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q64 | あなたは、顔をジーと見られるのが、つらいですか？               | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q65 | あなたは、自分が周りから変な人と思われているのではないかと、気になりますか？ | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q66 | あなたは、自分のことが皆に知られるのではないかと、気になりますか？      | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q67 | あなたは、大勢いてもうまく会話の中に入れますか？               | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q68 | あなたは、集団の中にうまくとけこめますか？                  | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

<生育環境>

- |     | はい                         | どちらとも<br>いえない        | いいえ                  |
|-----|----------------------------|----------------------|----------------------|
| Q69 | 自分の父親は、神経質な性格である？          | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q70 | 自分の母親は、神経質な性格である？          | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q71 | 自分の父親は、しつけにおいて厳しい方であった？    | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q72 | 自分の母親は、しつけにおいて厳しい方であった？    | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| Q73 | 自分は他の家族から、何かにつけ、厳しくしつけられた？ | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

Q74 自分は学校の先生など指導者から、  
厳しくしつけられた？



Q75 あなたの性は？

・男

・女

表1 プリテスト「感覚刺激に関する調査」の結果

味覚における不快刺激（上位10位）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
不快刺激	レバー	わさび	魚貝類	グリーンピース	からし	人参	しいたけ	いくら	脂のついた肉	つぶあん
非常に嫌いな人の数 (N)	7	5	4	4	3	2	4	3	2	1
やや嫌いな人の数 (N)	4	3	4	2	3	4	1	2	2	3

嗅覚における不快刺激（上位10位）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
不快刺激	強い香りの香水	たばこ	トイレ	おやじさ	生ゴミ	酒臭さ	新車の中のおい	下水	チーズ	電車の中
非常に嫌いな人の数 (N)	3	7	10	7	6	4	3	4	4	3
やや嫌いな人の数 (N)	11	5	1	3	0	2	3	1	1	2

触覚における不快刺激（上位10位）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
不快刺激	虫	魚	爬虫類	カエル	ゴキブリ	外トイレ	生ゴミ	知らないおじさん	汚い場所	いもむし
非常に嫌いな人の数 (N)	13	5	6	5	4	3	2	3	3	2
やや嫌いな人の数 (N)	1	3	0	0	0	1	2	0	0	0

聴覚における不快刺激（上位10位）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
不快刺激	チョークのひっかく音	どなり声	バイクの音	蚊のブーンという音	工事の音	サイレンの音	静かな時の時計の音	テレビのジーという音	ぶりっ子の声	マイクのキーという音
非常に嫌いな人の数 (N)	15	3	3	4	3	2	2	1	0	2
やや嫌いな人の数 (N)	2	3	3	0	1	2	2	3	3	0

視覚における不快刺激（上位10位）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
不快刺激	虫	ケガなどで出血しているところ	おぼけ	酔っている人	動物の死体	いちゃいちゃしているカップル	グロテスクなもの	不潔な人	吐き物	多量に汗をかいている人
非常に嫌いな人の数（N）	10	5	5	2	5	3	2	1	0	2
やや嫌いな人の数（N）	2	1	1	4	0	2	1	2	3	0

幼ない時、屋外で仲間と一緒にやった遊び（上位7位）

順位	1	2	3	4	5	6	7
遊び内容	鬼ごっこ	縄とび	警泥	泥・砂遊び	ゴムだん	缶けり	ままごと
N	22	9	8	8	4	4	3

幼ない時、室内で仲間と一緒にやった遊び（上位7位）

順位	1	2	3	4	5	6	7
遊び内容	ごっこ遊び	人形遊び	かくれんぼ	お絵描き	テレビゲーム	レゴブロック	あやとり
N	19	13	8	6	4	3	3

幼ない時、屋外で一人でやった遊び（上位7位）

順位	1	2	3	4	5	6	7
遊び内容	縄とび	一輪車	自転車	近所の探索	鉄棒	ブランコ	イヌ・ネコと遊ぶ
N	18	14	7	6	6	2	2

幼ない時、室内で一人でやった遊び（上位7位）

順位	1	2	3	4	5	6	7
遊び内容	人形遊び	お絵描き	ぬり絵	テレビゲーム	ままごと	レゴブロック	読書
N	12	12	10	6	5	5	4



# 1. (1)不快刺激の程度

## <味覚>

表2 不快度順位（Q1～Q10）

女 性 N = 305				男 性 N = 63			
不快度 順位	不快刺激	M	SD	不快度 順位	不快刺激	M	SD
1	脂身たっぷりの肉	1.10	0.76	1	レバー	0.78	0.77
2	レバー	0.85	0.84	2	脂身たっぷりの肉	0.71	0.71
3	グリーンピース	0.76	0.79	3	グリーンピース	0.51	0.62
4	からし	0.74	0.79	4	しいたけ	0.44	0.69
5	わさび	0.64	0.77	5	貝類	0.38	0.63
6	人参	0.41	0.65	6	からし	0.37	0.60
7	いくら	0.39	0.72	7	人参	0.27	0.57
8	貝類	0.38	0.65	8	わさび	0.25	0.57
8	つぶあん	0.38	0.63	8	つぶあん	0.25	0.57
10	しいたけ	0.31	0.63	10	いくら	0.24	0.53

不快程度の分布と性差（表3・図1）

表3 性差

性	N	M	SD	有意差（t-検定）
女性	305	5.9	3.25	N. S.
男性	63	4.2	2.63	

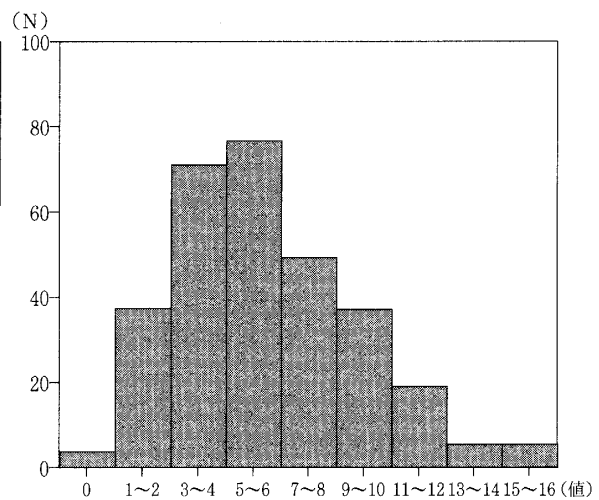


図1 Q1～Q10の10項目合計の女性の分布  
 （なお分布図としての棒グラフはNの多い女性のみとした。なお、Nの少ない男性もすべての不快刺激において大体女性と同じ形状を示している）

< 嗅覚 >

表 4 不快度順位 (Q11～Q20)

女 性 N = 305				男 性 N = 63			
不快度 順位	不快刺激	M	SD	不快度 順位	不快刺激	M	SD
1	生ゴミ	1.80	0.42	1	生ゴミ	1.73	0.48
2	おやじ臭さ	1.77	0.45	2	生臭さ	1.60	0.55
3	生臭さ	1.64	0.56	3	トイレ	1.33	0.65
4	トイレ	1.47	0.57	4	おやじ臭さ	1.32	0.62
5	強い香水	1.44	0.63	5	強い香水	1.29	0.68
6	酒臭さ	1.22	0.65	6	タバコ	1.24	0.80
7	タバコ	1.21	0.78	7	酒臭さ	0.98	0.71
8	車内の臭い	1.06	0.69	8	車内の臭い	0.73	0.72
9	動物の臭い	0.90	0.67	9	動物の臭い	0.67	0.60
10	チーズ	0.46	0.66	10	チーズ	0.35	0.54

不快程度の分布と性差（表 5・図 2）

表 5 性差

性	N	M	SD	有意差 (t-検定)
女性	305	12.9	3.19	t=3.74>t(0.01) * * …1%有意
男性	63	11.2	3.64	

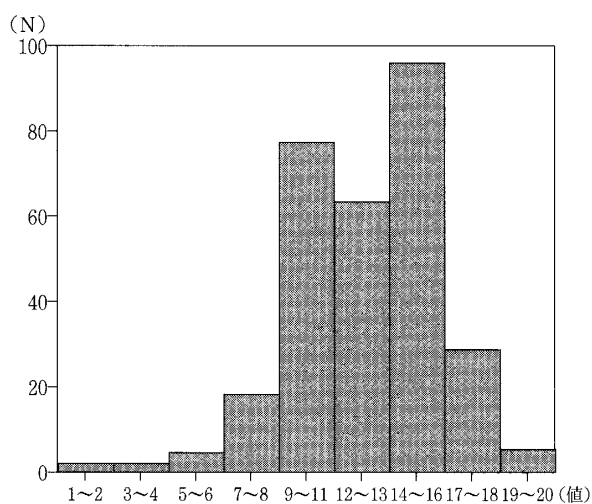


図 2 Q11～Q20の10項目合計の女性の分布

# <触覚>

表 6 不快度順位（Q21～Q30）

女 性 N = 305				男 性 N = 63			
不快度 順位	不快刺激	M	SD	不快度 順位	不快刺激	M	SD
1	手袋してゴキブリをつかまえる	1.84	0.47	1	手袋してゴキブリをつかまえる	1.71	0.63
2	いもむしを手でつかまえる	1.74	0.57	2	いもむしを手でつかまえる	1.41	0.69
3	手袋してナメクジをつかまえる	1.51	0.74	3	手袋してナメクジをつかまえる	1.11	0.79
4	手袋してカエルをつかまえる	1.29	0.82	4	手袋して生ゴミにふれる	0.86	0.76
5	バッタを手でつかまえる	1.15	0.83	5	手袋して便器にふれる	0.84	0.70
5	静電気を起こすものにふれる	1.15	0.66	6	静電気を起こすものにふれる	0.75	0.69
7	手袋して便器にふれる	1.01	0.74	7	バッタを手でつかまえる	0.70	0.78
8	手袋して生ゴミにふれる	0.95	0.74	8	手袋してカエルをつかまえる	0.56	0.78
9	生魚に手でふれる	0.88	0.81	9	生魚に手でふれる	0.43	0.61
10	本のページをめくる	0.10	0.32	10	本のページをめくる	0.03	0.20

不快程度の分布と性差（表 7・図 3）

表 7 性差

性	N	M	SD	有意差（t-検定）
女性	305	11.5	4.05	t=5.60>t(0.01) * * …1%有意
男性	63	8.4	3.72	

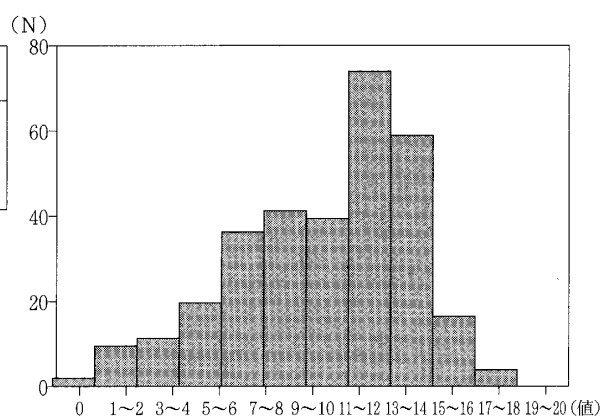


図 3 Q21～Q30の10項目合計の女性の分布

<聴覚>

表 8 不快度順位（Q31～Q40）

女 性 N = 305				男 性 N = 63			
不快度 順位	不快刺激	M	SD	不快度 順位	不快刺激	M	SD
1	黒板にチョークでひっかく音	1.62	0.62	1	ハエのブーンという音	1.38	0.68
2	ハエのブーンという音	1.58	0.57	2	黒板にチョークでひっかく音	1.37	0.79
3	ぶりっ子の声	1.41	0.69	3	どなり声	1.19	0.67
4	どなり声	1.37	0.64	4	ぶりっ子の声	1.16	0.83
5	工事の音	1.15	0.71	5	工事の音	1.05	0.77
6	バイクの音	0.93	0.73	6	バイクの音	0.83	0.75
7	テレビのジーという音	0.90	0.70	7	テレビのジーという音	0.63	0.63
8	救急車のサイレンの音	0.78	0.68	8	静かな時の時計の音	0.49	0.67
9	静かな時の時計の音	0.70	0.71	9	パトカーのサイレンの音	0.44	0.62
10	パトカーのサイレンの音	0.69	0.67	10	救急車のサイレンの音	0.38	0.58

不快程度の分布と性差（表 9・図 4）

表 9 性差

性	N	M	SD	有意差（t-検定）
女性	305	10.9	3.69	t=3.86>t(0.01) * * …1%有意
男性	63	8.9	3.93	

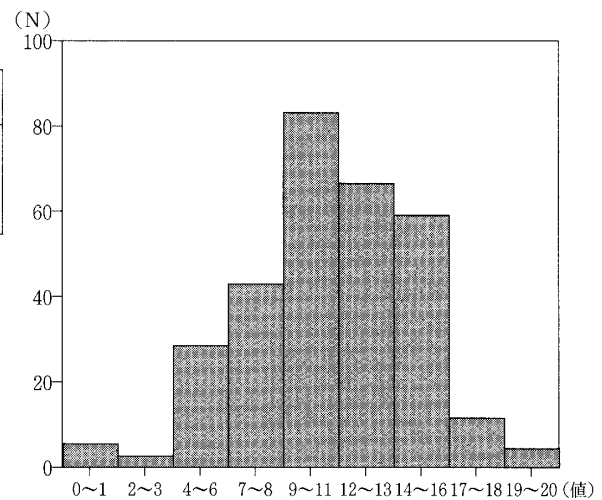


図 4 Q31～Q40の10項目合計の女性の分布

<視覚>

表10 不快度順位（Q41～Q50）

女 性 N = 305				男 性 N = 63			
不快度 順位	不快刺激	M	SD	不快度 順位	不快刺激	M	SD
1	動物の死体をみる	1.78	0.49	1	ゴキブリをみる	1.73	0.60
2	ゴキブリをみる	1.72	0.56	2	動物の死体をみる	1.52	0.67
3	不潔な人をみる	1.58	0.56	3	不潔な人をみる	1.30	0.64
4	酔っ払いの姿をみる	1.24	0.70	4	ハエをみる	1.17	0.68
5	ハエをみる	1.22	0.67	5	酔っ払いの姿をみる	0.98	0.75
6	いちゃいちゃしているカップルをみる	1.07	0.72	6	いちゃいちゃしているカップルをみる	0.79	0.85
7	ミミズをみる	0.91	0.78	7	地面に座っている若者をみる	0.78	0.83
8	地面に座っている若者をみる	0.84	0.69	8	ミミズをみる	0.48	0.64
9	汗をかいている人をみる	0.78	0.65	9	汗をかいている人をみる	0.40	0.52
10	生魚をみる	0.35	0.61	10	生魚をみる	0.14	0.40

不快程度の分布と性差（表11・図5）

表11 性差

性	N	M	SD	有意差（t-検定）
女性	305	11.4	3.55	t=4.24>t(0.01) * * …1%有意
男性	63	9.3	3.68	

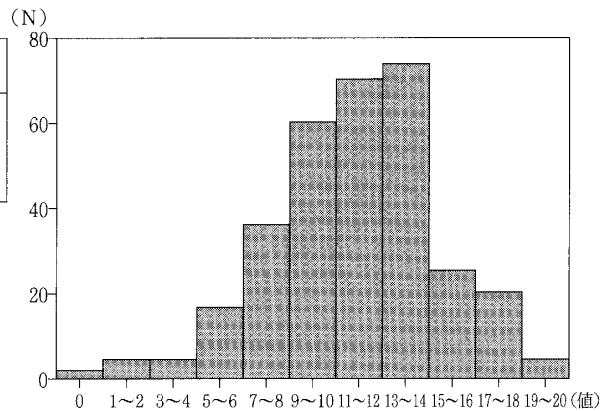


図5 Q41～Q50の10項目合計の女性の分布

# <全感覚の不快刺激>

不快程度の分布と性差（表12・図6）

表12 性差

性	N	M	SD	有意差（t-検定）
女性	305	53.0	12.00	t=6.56>t(0.01) * * …1%有意
男性	63	42.0	12.50	

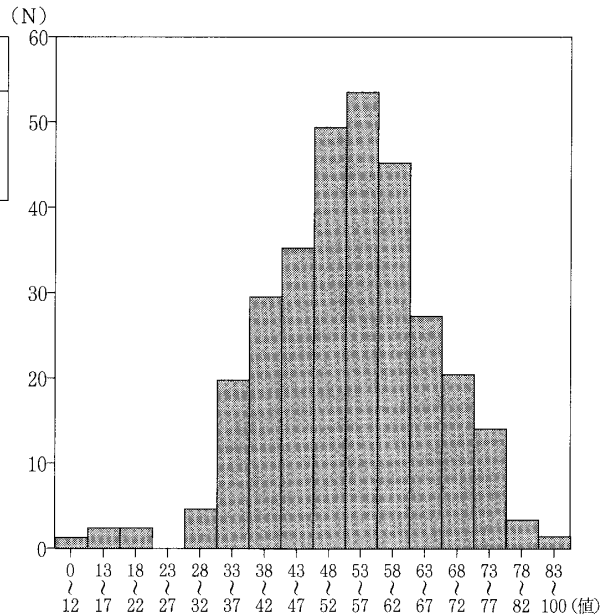


図6 Q1～Q50の50項目合計の女性の分布

## (2)不快度を形成する要因

### <両親の神経質の程度>

表13 性別結果  
(Q69、Q70の2項目合計値)

性	N	M	SD
女性	305	1.6	1.21
男性	63	1.8	1.03

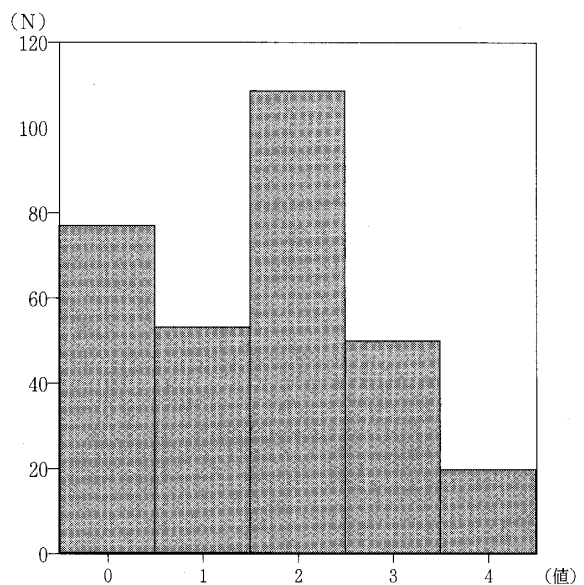


図7 Q69、Q70の2項目の女性の分布

<両親および周囲の大人のしつけ及び接し方>

表14 性別結果  
(Q71～Q74の4項目の合計値)

性	N	M	SD
女性	305	3.1	1.95
男性	63	3.2	2.16

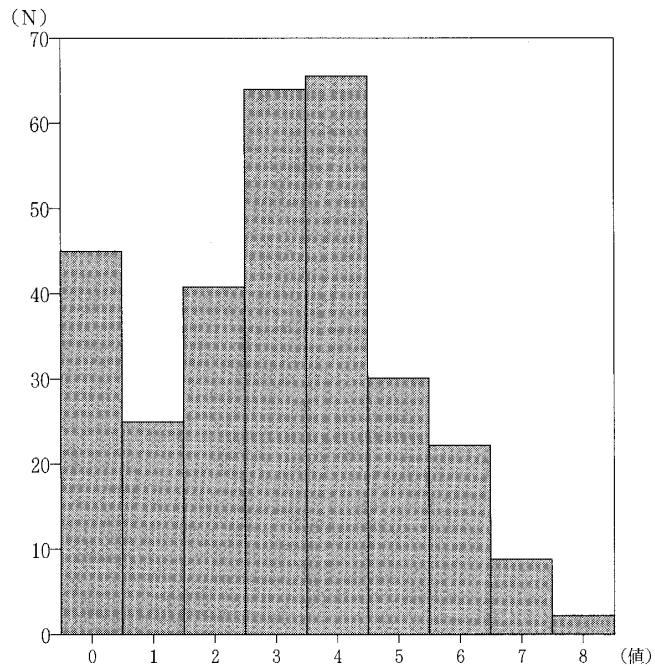


図8 Q71～Q74の4項目合計の女性の分布

<幼児期からの遊び方>

A. 仲間との遊び（集団遊び）

表15 性別結果  
(Q51～Q55の5項目の合計値)

性	N	M	SD
女性	305	2.2	1.81
男性	63	2.2	2.20

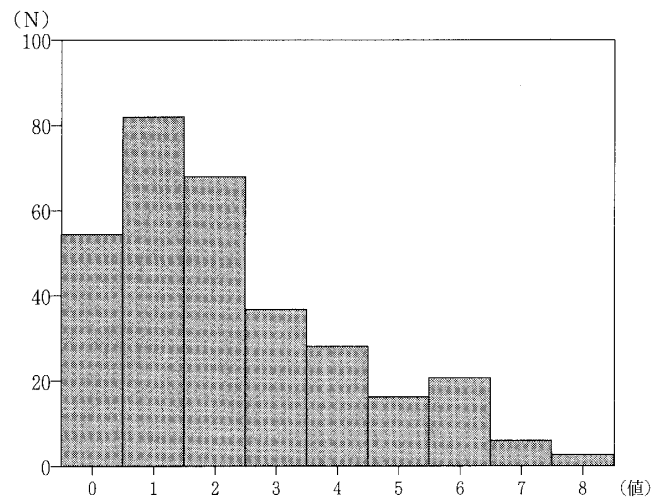


図9 Q51～Q55の5項目合計の女性の分布

## B. 一人遊び

表16 性別結果  
(Q56～Q60の5項目の合計値)

性	N	M	SD
女性	305	5.1	2.13
男性	63	5.0	2.27

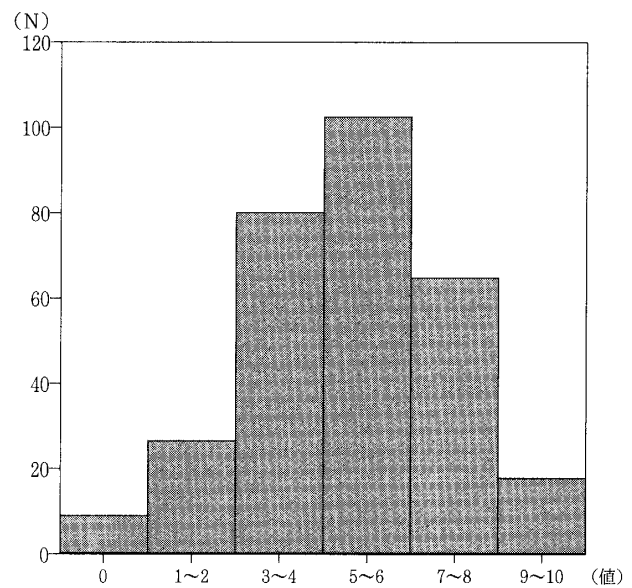


図10 Q56～Q60の5項目合計の女性の分布

### (3)対人関係の不安

#### <対人への不安>

表17 性別結果  
(Q61～Q68の8項目合計値)

性	N	M	SD
女性	305	7.1	3.23
男性	63	7.7	3.41

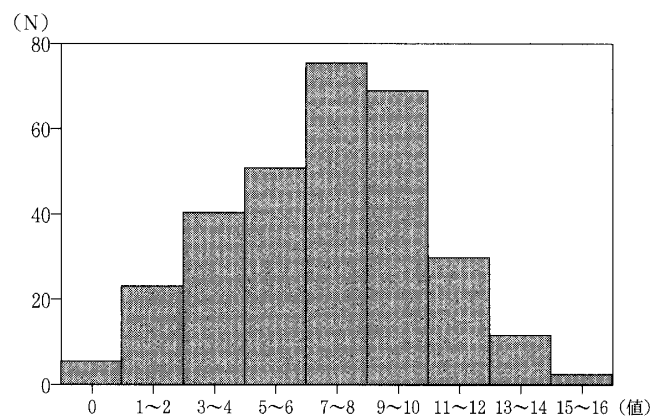


図11 Q61～Q68の8項目の分性の分布



## 2. 相関分析

pearson相関値 (R) \*... 5%有意

### (1) 感覚別、不快刺激間の関係

\*\*... 1%有意

表18 女性

	味覚	嗅覚	触覚	聴覚	視覚	全感覚
味覚		**	**		*	**
嗅覚			**	**	**	**
触覚				**	**	**
聴覚					**	**
視覚						**

表19 男性

	味覚	嗅覚	触覚	聴覚	視覚	全感覚
味覚						**
嗅覚			*	**	**	**
触覚				**	**	**
聴覚					**	**
視覚						**

### (2) 不快度と、それを形成する要因、および、対人への不安との関係 (pearson 相関値 R で、有意差が見出されたもの)

表20 女性

	大人のしつけ 方及び接し方	対人関係 の不安
聴覚	*	*
視覚	*	

表21 男性

	仲間との遊び	対人関係の 不安
触覚	*	
全感覚		*